

ロシアによるウクライナ侵略の状況 (2022年4月19日時点)

- 現在、露軍は、キーウ、チェルニヒウ等の「ウ」北部方面から後退し、**ハルキウ、ドンバス地域といった「ウ」東部方面及びマリウポリ等の「ウ」南部方面への攻撃を強化**
- **人口密集地へのミサイル・多連装ロケットによる無差別攻撃により、「ウ」一般市民の犠牲者が増加**
- **「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約2万300人、戦車773両、装甲戦闘車両2002両、固定翼機165機、ヘリ146機**

13日、露国防省報道官は、「ウ」が露国内での破壊活動を停止しなければ、**キーウ等へのミサイル攻撃を行うと主張**

- ・ 15日、キーウ郊外の地対空・地対艦ミサイル工場
 - ・ 16日、キーウの戦車・装甲車工場及びミコライウの修理工場
 - ・ 17日、キーウ東方プロバルィの弾薬工場
- をそれぞれ攻撃したと露国防省は発表

13日、「ウ」軍参謀本部は、露中央軍管区第201軍事基地(タジキスタン)所属BTGの移動指揮所を破壊したと発表

ハルキウへの攻撃が激化

露軍は、マリウポリの「アゾフスターリ」製鉄所等で戦闘を継続する「ウ」軍及び「ウ」国家親衛隊に対し、降伏するよう求めるも、「ウ」側はこれを拒否

13日、オデーサ州知事は、**ウクライナ軍が地対艦ミサイルで露黒海艦隊旗艦のスラヴァ級ミサイル巡洋艦「モスクワ」を攻撃し、深刻な被害を与えたとの記事**をSNSに投稿
同14日、露国防省は、「モスクワ」が搭載していた弾薬類の爆発による火災のため、**曳航中に沈没したと発表**



- 攻撃を受けたと報じられた地点
- 攻撃を受けたと報じられた軍施設
- ★ 特に激しい戦闘が行われている地域
- 露軍が占領した地点
- 地域

資料源: ウクライナ国営通信、ウクライナ政府機関ウェブサイト、露タス通信、ISW等